ワイヤレス 3ポート ブロードバンド ルータ

BLW-03FA

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

ワイヤレス 3ポート ブロードバンド ルータ

BLW-03FA

本製品を安全にお使いいただくために

⚠警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

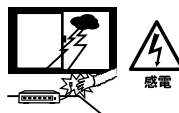
分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。

雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。

正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。

通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。

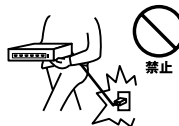
タコ足配線・無理な配線はダメ!

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。

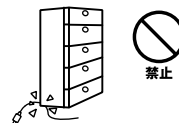
電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。

液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。

電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

◇コードの上に物を載せない
◇熱源の側にコードを置かない
◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）

設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
・腐食性のガスが発生する場所
・直射日光のあたる場所
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所
・腐食性のガスが発生する場所

◎おねがい

本製品のお手入れ

・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

このマニュアルの構成

本マニュアルはワイヤレス 3ポート ブロードバンドルータ bRoad Lanner BLW-03FAの概要および使用方法について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。

■必ずお読みください

第1章　はじめに
本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

■ご使用方法

第2章　ハードウェアの接続
本製品ハードウェアのADSL/ケーブルモデムおよびLANとの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章　コンピュータの設定
本製品を使用したインターネットへのアクセスと本製品のWEBブラウザからの設定に必要なコンピュータの設定方法について説明します。

第4章　インターネット接続設定
本製品のインターネットへの接続設定について説明します。

第5章　ワイヤレスLANアクセスポイント
本製品の無線LANアクセスポイント機能を使用する方法について説明します。

第6章　詳細設定
本製品のDHCPサーバ機能やローカルサーバ機能等のより詳しい機能の設定の方法について説明します。

第7章　プリントサーバ機能
本製品のプリントサーバ機能の使用方法について説明します。

■付録

付録A　トラブルシューティング
「トラブルかな？」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B　デフォルト設定
本製品の工場出荷時のデフォルト設定について説明します。

付録C　仕様
本製品の製品仕様です。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User’s Manual　Version 1.0　　No.PMN-02-04-TN-BLW03FA

目次

本製品を安全にお使いいただくために ・・・ 2

第1章 はじめに

1.概要 ・・・ 7
2.特長 ・・・ 8
3.梱包内容の確認 ・・・ 9
4.各部の名称 ・・・ 10
5.対応機器 ・・・ 13
6.設定の初期化 ・・・ 14

第2章 ハードウェアの接続

1.設置場所について ・・・ 15
2.設置 ・・・ 17
3.無線LANアンテナの調整 ・・・ 17
4.WAN側ポートにADSL/ケーブルモデムを接続する ・・・ 18
5.LAN側ポートへのコンピュータの接続 ・・・ 19
6.電源の接続 ・・・ 20
7.接続の確認 ・・・ 21

第3章 コンピュータの設定

1.Windows 95/98/Me ・・・ 23
2.Windows 2000 ・・・ 26
3.Windows XP ・・・ 29
4.Macintosh ・・・ 32

第4章 インターネット接続設定

1.インターネット接続方法の確認 ・・・ 33
2.PPPoE接続の設定 ・・・ 35
3.DHCP接続の設定 ・・・ 41
4.固定IP接続の設定 ・・・ 45
5.ブリッジモードの設定 ・・・ 49
6.接続の確認 ・・・ 52

第5章 ワイヤレスLANアクセスポイント

1.ワイヤレスLAN アクセスポイントについて ・・・ 51
2.ワイヤレスLAN クライアントの設定 ・・・ 54

第6章 詳細設定

1.設定画面を開く……61
2.管理者パスワードの設定……63
3.タイムゾーンの設定……64
4.LANポートの設定……65
5.DNS設定……67
6.WANポートの設定……68
7.ワイヤレス設定……68
8.ローカルサーバ機能……77
9.バーチャルコンピュータ機能（DMZ）……79
10.ファイアウォール設定……81
11.フィルタ設定……82
12.その他の設定……84
13.ステータス表示……85
14.再起動……86
15.デフォルト設定への復帰……87
16.設定情報の保存/読み込み……88
17.ファームウェアのアップデート……89

第7章 プリントサーバ機能

1.プリンタの接続……91
2.プリンタポートドライバのインストール（Windows 95/98/Meのみ）……92
3.Windows 95/98/Meへのプリンタのインストール……96
4.Windows 2000/XPへのプリンタのインストール……100

付属A トラブルシューティング……107

付属B デフォルト設定……109

付属C 仕様……111

第1章 はじめに

1 概要

本製品は、ADSL およびCATV（ケーブルTV）接続を使用したインターネット接続に対応したブロードバンドルータです。NAT/IPマスカレード（NAPT）機能により、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセスすることが可能です。本製品は無線LAN機能を装備しており、無線アクセスポイントとしても使用可能です。本製品はWEBブラウザにより、簡単にセットアップすることが可能です。

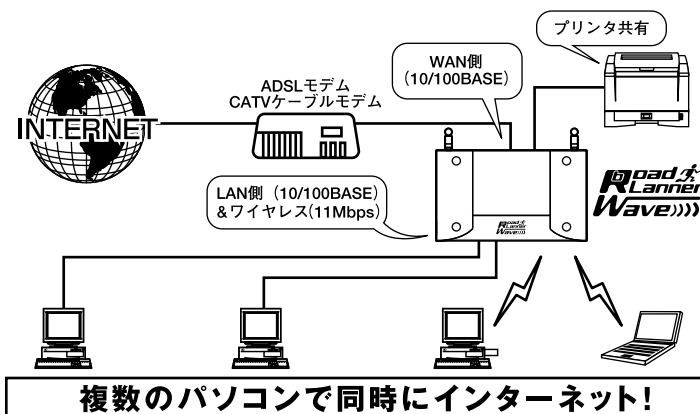



図1-1　bRoad Lanner接続図

 注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

2 特長

- ADSL、CATV接続等のWAN回線に対応
- NAT/IPマスカレード機能により1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有可能
- WAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応したRJ-45 STPポートを1ポート装備
- LAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応したRJ-45 STPポートを3ポート装備
- LAN側ポートは全ポートAuto MDI/MDI-Xに対応。ストレート/クロスケーブルを自動認識
- 無線LAN機能を装備、11Mbps無線アクセスポイントとして使用可能
- プリンタポートを装備、ローカルネットワーク上のWindowsコンピュータでプリンタ共有が可能
- 無線部はWEPおよびESS-IDによるセキュリティに対応
- WAN側ポートはDHCPクライアントに対応
- LAN側ポートはDHCPサーバに対応（最大253クライアントまで割り当て可能）
- DNSリレー機能に対応
- ローカルサーバ機能によりTCP/UDPプロトコルのポート番号ごとに、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能
- バーチャルコンピュータ機能により、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能
- 簡易ファイアウォール機能を装備、インターネットからの攻撃を検出し防御します
- フィルタ機能を装備、ローカルネットワーク上のコンピュータのインターネットへのアクセス制限が可能
- WAN側の接続方法として通常の接続のほかにPPPoE接続、ブリッジモードに対応
- WEBブラウザから設定可能

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

●BLW-03FA本体
●ACアダプタ
●UTPストレートケーブル（1m）1本
●ショートケーブル1本
●ドライバCD-ROM
●このユーザーズマニュアル
●保証書

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■本体前面

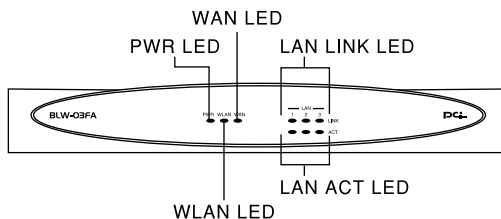



図1-2　BLW-03FA本体前面

「PWR LED」

本製品に電源が供給されている場合に緑色に点灯します。

「WLAN LED」

無線LAN機能が正常に動作しているときに点灯します。

「WAN LED 」

WAN 側ポートのリンクが確立しているときに緑色に点灯します。

「LAN LINK LED」

LAN側ポートのリンクが確立しているときに緑色に点灯します。

「LAN ACT LED」

LAN側ポートがデータの送受信中に黄色に点滅します。

■本体背面

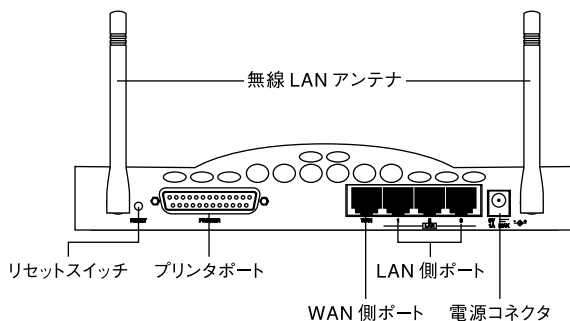



図1-3　BLW-03FA本体背面

「WAN 側ポート」
本製品をADSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「LAN側ポート」
本製品にコンピュータを直接接続するためのRJ-45 STPポートです。

「リセットスイッチ」
本製品を再起動する場合や、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使用します。

「無線LANアンテナ」
無線LANアンテナです。

「プリンタポート」
プリンタを接続するためのパラレルポートです。

「電源コネクタ」
付属のAC アダプタを接続するための電源コネクタです。

■本体裏面

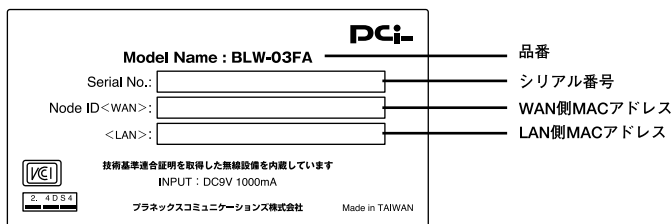



図1-4　BLW-03FA本体裏面

「品番」
本製品の製品型番です。

「シリアル番号」
本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

「LAN側MACアドレス」
本製品のLAN 側ポートのMAC アドレス（物理アドレス）です。

「WAN側MACアドレス」
本製品のWAN 側ポートのMAC アドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはxDSL/ケーブルモデムに接続する機器のMAC アドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのWAN 側ポートのMAC アドレスをプロバイダに申請してください。

5 対応機器

■コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

◎イーサネット（有線）通信を使用する場合

・Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XPを搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したコンピュータ
・TCP/IPが利用可能なOS（Mac OS、各種UNIX等）を搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したコンピュータ

◎ワイヤレス（無線）通信を使用する場合

・Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XPを搭載し、IEEE 802.11/IEEE802.11bに準拠した無線LANカードもしくは無線LAN 通信機能を装備したコンピュータ
・AirMac無線LANカードを装備したMacintoshコンピュータ

■ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

・UTP またはSTP ツイストペアケーブル

■ADSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのADSL/ケーブルモデムに対応しています。

・RJ-45（LAN）ポートを装備した外付ADSLモデム
・RJ-45（LAN）ポートを装備した外付ケーブルモデム

6 設定の初期化

IPアドレスやパスワードを忘れてしまった場合や、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなった場合等に設定の初期化が必要になることがあります。

注意

設定の初期化を行うと、LAN 側/WAN 側ポートの設定やワイヤレス設定、フィルタ設定等すべての設定が初期化されます。初期化を実行する前に、本当に初期化を行っても問題がないかを確認してください。

本製品の設定の初期化は、以下の手順で行ってください。

1. 本製品の電源がONの状態で背面のリセットスイッチを5秒以上押しつづけてください。

2. リセットスイッチを離してください。本製品のすべての設定が初期化されます。

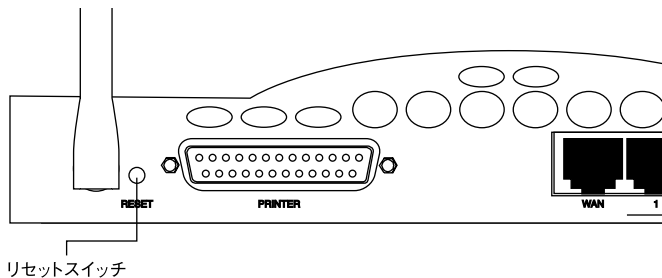



図1-5　リセットスイッチ

ハードウェアの接続

章では、本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータとの接続手順について説明します。

1 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いします。

●湿気の多い場所に設置しないでください。

●チリやほこりの多い場所には設置しないでください。

●直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでください。

●内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。

 注意

通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因となります。定期的に点検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等でほこりを取り除くようにしてください。

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが、設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行うには、出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 （＊が多いほど、影響が大きいことを表します。）	具体例
空気	＊	ー
石材	＊＊	木材の仕切り
石膏	＊＊	仕切り壁
合成素材	＊＊	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	＊＊	天井
ガラス	＊＊	窓ガラス
水	＊＊＊	湿った木材
煉瓦	＊＊＊	煉瓦壁
大理石	＊＊＊＊	石壁
セメント コンクリート	＊＊＊＊	床、壁
防弾ガラス	＊＊＊＊	哨舎
鉄	＊＊＊＊＊	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

表2-1　遮蔽物の素材について

2 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使用して下さい。

3 無線LANアンテナの調整

本製品の2本の無線LANアンテナの向きを調整してください。
無線LANの信号はアンテナを中心とした同心円状に環状に放射されます。
このため、2本のアンテナの一方を垂直にし、もう一方を水平に調整すると効果的です。

2

ハードウェアの接続

4 WAN側ポートにADSL/ケーブルモデムを接続する

1. ADSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。

2. ストレートタイプのツイストペアケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートを接続してください。

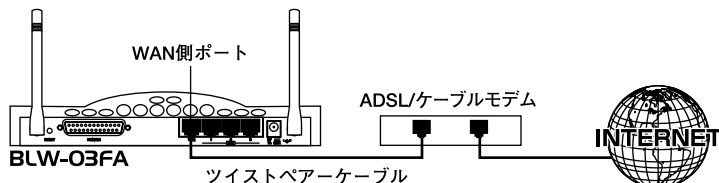



図2-1　ADSL/ケーブルモデムとの接続

注意

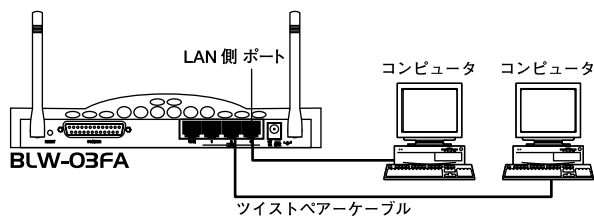
本製品のWAN側ポートはMDIポートになっています。使用するADSL/ケーブルモデムのポートがMDIポートの場合はクロスケーブルを使用してください。

5 LAN側ポートへのコンピュータの接続

1. ツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN 側ポートに接続してください。

2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45 ポートに接続してください。

図2-2　コンピュータを接続

2

ハードウェアの接続

6 電源の接続

1. ADSL/ケーブルモデムおよびハブの電源を入れてください。

2. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。

3. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。スペースの問題でコンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。

4. コンピュータの電源を入れてください。

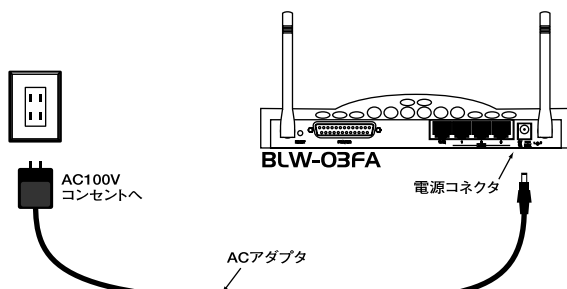



図2-3 電源の接続

注意

AC アダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のAC アダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のAC アダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

7 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPWR、WAN、LAN LINK、WLANの各LED が点灯します。これらのLEDが点灯しない場合は以下の点についてご確認ください。

◎PWR LED

・本製品付属のACアダプタを使用していますか？
・ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
・ACアダプタはAC100V コンセントにしっかりと接続されていますか？

◎WAN LED

・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN側ポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45 ポートにしっかりと接続されていますか？
・ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

◎LAN LINK LED

・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN 側ポートおよびハブまたはコンピュータのRJ-45 ポートにしっかりと接続されていますか？
・コンピュータの電源は入っていますか？

◎WLAN LED

・本製品の電源は入っていますか？

第3章

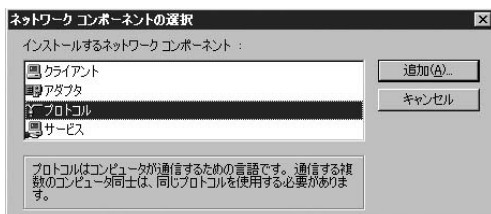
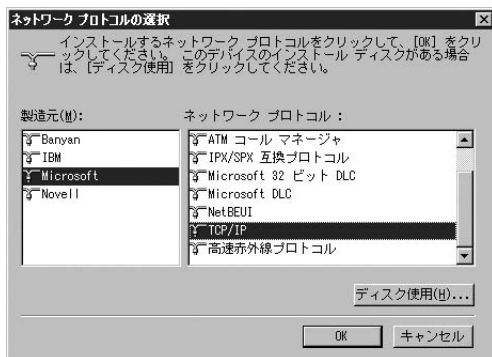
コンピュータの設定

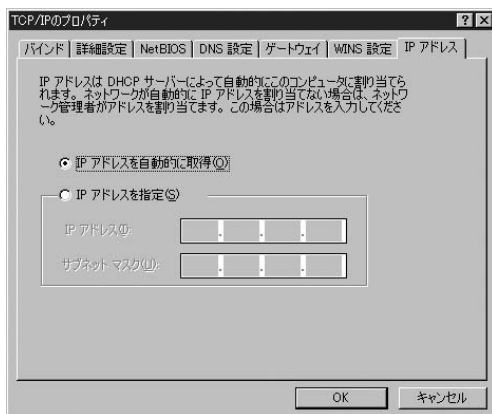
本章では本製品を使用したインターネットへのアクセスとWEBブラウザから本製品の設定を行うために必要なコンピュータの設定手順について説明します。コンピュータの設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。

1 Windows 95/98/Me

1. コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。ネットワークアダプタがインストールされていない場合は、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。

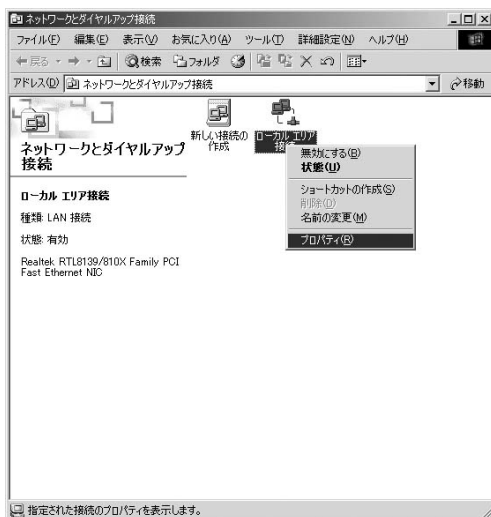
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。

3. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。

5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動してください。

3
コンピュータの設定

2 Windows 2000

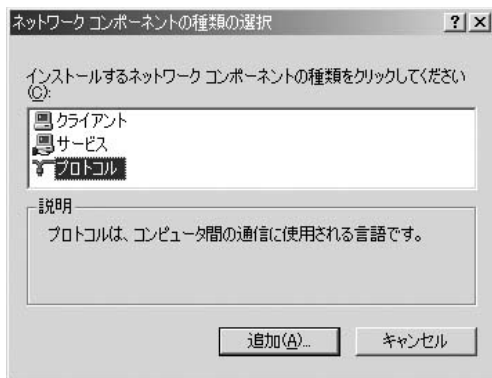
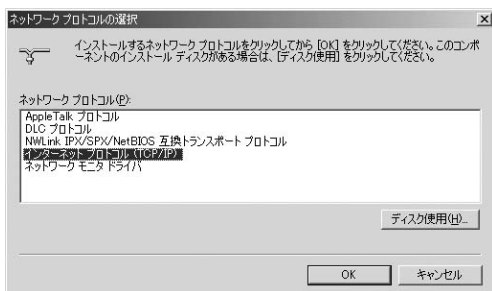
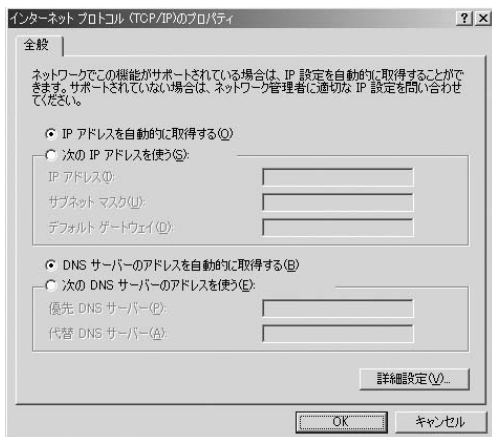
1. コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。ネットワークアダプタがインストールされていない場合は、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。

2. コンピュータにTCP/IP プロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイアルアップ接続」と選択してください。

3.「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。

4.「ローカルエリア接続のプロパティ」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順7に進んでください。

5. インストールされていない場合は「インストール」ボタンをクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

3

コンピュータの設定

6. **「ネットワークプロトコル」で「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ローカルエリア接続のプロパティの画面に戻ります。**

7. **「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が表示されるので、「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」の2つのオプションを選択し「OK」ボタンをクリックしてください。**

8. **「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面に戻るのでこれを閉じてください。**

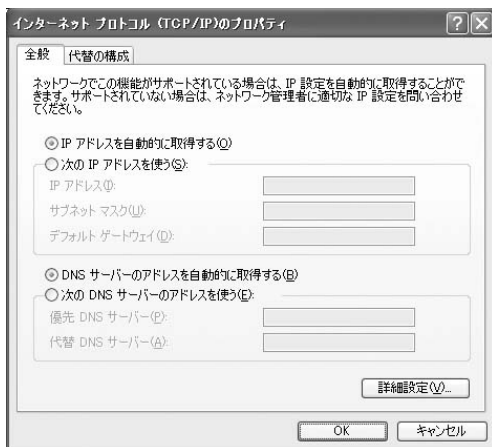
3 Windows XP

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのインストールを行ってください。

2. コンピュータでTCP/IPプロトコルが有効になっていることを確認します。「スタート」メニューを開き、「マイコンピュータ」を選択してください。表示された「マイコンピュータ」ウィンドウの左側の「その他」の中にある「マイネットワーク」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択してください。「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

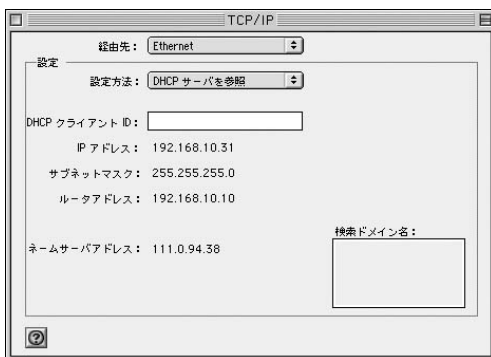
3. 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。「この接続は次の項目を使用します」の欄の「インターネットプロトコル（TCP/IP）」の左側のチェックボックスがチェックされているか確認してください。チェックされていない場合はチェックしてください。

3 コンピュータの設定

4. 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が表示されるので、「全般」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」のオプションを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウに戻ったら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

4 Macintosh

1. アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP 」と選択してください。

2. TCP/IP の設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCP サーバを参照」に設定してください。

3. TCP/IP の設定ウィンドウを閉じて、Macintosh を再起動してください。

インターネット接続設定

本章では本製品のインターネットへの接続手順について説明します。ここでは、必要最小限の設定のみで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようにします。インターネット接続設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」および第3章「コンピュータの設定」を済ませておいてください。本製品のより詳細な設定を行う場合は、第5章「詳細設定」を参照してください。

1 インターネット接続方法の確認

本製品のインターネット接続の設定は、お客様が契約しているプロバイダとのサービス内容により異なります。
次の中からお客様のプロバイダとの契約内容にあった接続方法を選択して、本製品の設定を行ってください。

■PPPoE接続

NTT東日本株式会社/NTT西日本株式会社の「フレッツ・ADSL」および「Bフレッツ」や、東京めたりっく通信株式会社の「G-One（旧Single）」サービス等で採用されている、PPPoEプロトコルを使用する接続方法です。接続にはユーザ名（アカウント名）とパスワードが必要です。

→35ページの「4-2 PPPoE接続の設定」に進んでください。

■DHCP接続

多くのケーブルテレビインターネット接続サービスや、ヤフー株式会社の「Yahoo! BB」等のサービスで採用されている、DHCPプロトコルを使用してIPアドレスが自動的に割り当てられる方法です。

→41ページの「4-3 DHCP接続の設定」に進んでください。

■固定IPアドレス接続

プロバイダから固定のIPアドレスが割り当てられるサービスの場合の接続方法です。

→45ページの「4-4 固定IP接続の設定」に進んでください。

■ブリッジモード

本製品をブリッジモードで使用する場合の設定です。

→49ページの「4-5 ブリッジモードの設定」に進んでください。

2 PPPoE接続の設定

注意

WEB ブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0 以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorer では「表示(ツール)」→「インターネットオプション」→「接続」→「LAN の設定」、Netscape では「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIP アドレスを入力してください。

1. コンピュータが起動したら、WEB ブラウザを起動してください。

2. WEBブラウザのURL を入力する欄(Netscape では「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIP アドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押してください。

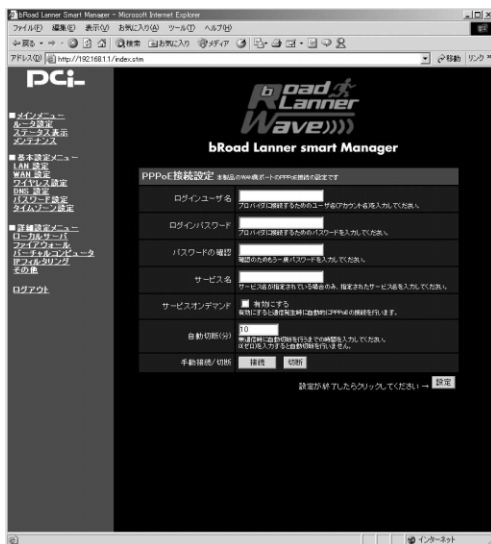
3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

4 インターネット接続設定

4. 本製品の設定画面が表示されます。

5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックしてください。基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックしてください。

6. **WAN設定画面が表示されるので「PPPoE接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。**

7. **PPPoE 接続の設定画面が表示されます。**

「ログインユーザ名」
プロバイダから指定されたPPPoE 接続のユーザ名（アカウント名）を入力してください。

「ログインパスワード」
プロバイダから指定されたPPPoE 接続のパスワードを入力してください。

「パスワードの確認」
確認のためパスワードをもう一度入力してください。

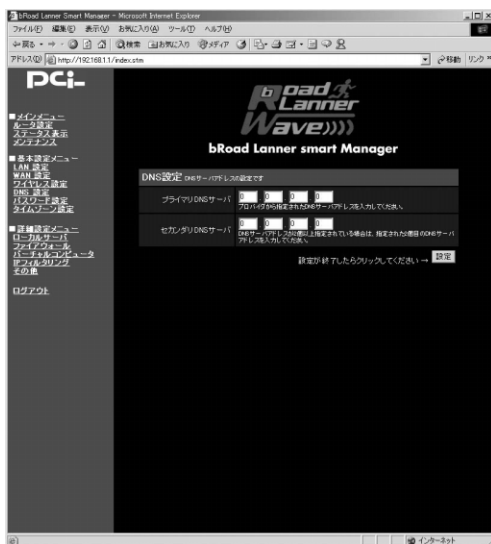
「サービス名」
プロバイダによってはPPPoE 接続のサービス名が指定される場合があります。この場合は指定されたサービス名を入力してください。サービス名の指定がない場合は空白のままでかまいません。

「IPアドレス」
プロバイダから固定IPアドレスの指定がない場合は「自動取得」を選択してください。PPPoE接続の際にIPアドレスを自動取得します。プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は「固定IPアドレス」を選択し、指定されたIPアドレスを入力してください。

「サービスオンデマンド」
有効にすると、LAN側のコンピュータからインターネットへの接続要求があった場合に、自動的にPPPoEの接続を行います。
有効にしない場合にPPPoEの接続を行うには、「接続」ボタンをクリックしてください。

「自動切断（分）」
ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わない場合は“ 0 ”を設定してください。

8. プロバイダからDNS（ドメインネームサーバ）アドレスが指定されていない場合は設定は終了です。「接続」ボタンをクリックして手順10に進んでください。DNSアドレスが指定されている場合は「設定」ボタンをクリックして、次のDNSアドレスの設定を行ってください。

9. DNS設定画面が表示されます。DNSアドレスを入力して「設定」ボタンをクリックしてください。

「プライマリDNSサーバ」
プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを入力してください。

「セカンダリDNSサーバ」
プロバイダから2個以上のDNSサーバアドレスが指定されている場合は、指定された2個目のDNSサーバアドレスを入力してください。

10. **画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックしてください。ステータス表示画面が表示されるので、PPPoE接続が成功しているか確認してください。PPPoE接続が成功しない場合は、ユーザ名、パスワード等の設定に間違いがないか確認してください。**

注意

コンピュータにプロバイダから配布されるPPPoE 接続ソフトウェアをインストールする必要はありません。インストールしてある場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を無効にしてください。

3 DHCP接続の設定

注意

WEB ブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0 以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorer では「表示（ツール）」→「インターネットオプション」→「接続」→「LAN の設定」、Netscape では「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン（アドレス）にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIP アドレスを入力してください。

1. コンピュータが起動したら、WEB ブラウザを起動してください。

2. WEBブラウザのURL を入力する欄（Netscape では「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のIP アドレス（デフォルト値は「192.168.1.1」）を入力し、Enterキーを押してください。

3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

4

インターネット接続設定

4. 本製品の設定画面が表示されます。

5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックしてください。基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックしてください。

6. WAN設定画面が表示されるので「DHCP接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。

7. DHCP接続の設定画面が表示されます。

「ホスト名」
通常は変更する必要はありませんが、プロバイダによってはホスト名が指定されている場合があります。この場合は指定されたホスト名を入力してください。

「MACアドレス」
本製品の現在のWAN側ポートのMACアドレスが表示されます。

「MACアドレスの変更」
「コピー」ボタンをクリックすると、本製品のWAN側ポートのMACアドレスに、現在設定を行うためにアクセスしているコンピュータのMACアドレスをコピーする事ができます。ADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの登録が必要なプロバイダの場合に、すでに登録しているコンピュータのMACアドレスをコピーすることにより登録の変更をする事無くご利用いただけます。

8. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

9. 画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックしてください。ステータス表示画面が表示されるので、IPアドレスの取得に成功しているか確認してください。

4 固定IP接続の設定

注意

WEB ブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0 以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorer では「表示（ツール）」→「インターネットオプション」→「接続」→「LAN の設定」、Netscape では「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン（アドレス）にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIP アドレスを入力してください。

1. コンピュータが起動したら、WEB ブラウザを起動してください。

2. WEBブラウザのURL を入力する欄（Netscape では「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のIP アドレス（デフォルト値は「192.168.1.1」）を入力し、Enterキーを押してください。

3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

4. 本製品の設定画面が表示されます。

5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックしてください。
基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックしてください。

4 インターネット接続設定

6. WAN設定画面が表示されるので「固定IP接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。

7. 固定IP接続設定画面が表示されます。

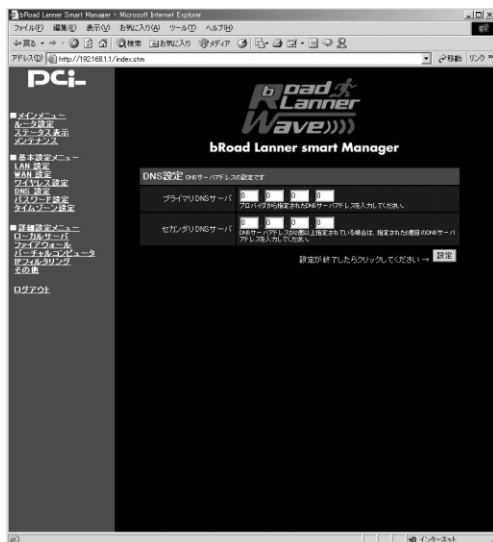
「WAN側IP アドレス」

プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。

「WAN側サブネットマスク」
プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

「WAN側デフォルトゲートウェイ」
プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイのIP アドレスを入力してください。

8. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックしてください。

9. 続いてDNS（ドメインネームサーバ）アドレスの設定を行います。DNS設定画面が表示されるので、DNSアドレスを入力してください。

「プライマリDNSサーバ」
プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを入力してください。

「セカンダリDNSサーバ」
プロバイダから2個以上のDNSサーバアドレスが指定されている場合は、指定された2個目のDNSサーバアドレスを入力してください。

10. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックしてください。

11. 画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックしてください。ステータス表示画面が表示されるので、設定したIPアドレスとDNSアドレスが表示されているか確認してください。

5 ブリッジモードの設定

注意

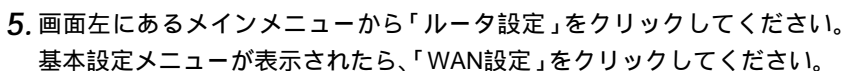
WEB ブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0 以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorer では「表示（ツール）」→「インターネットオプション」→「接続」→「LAN の設定」、Netscape では「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン（アドレス）にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIP アドレスを入力してください。

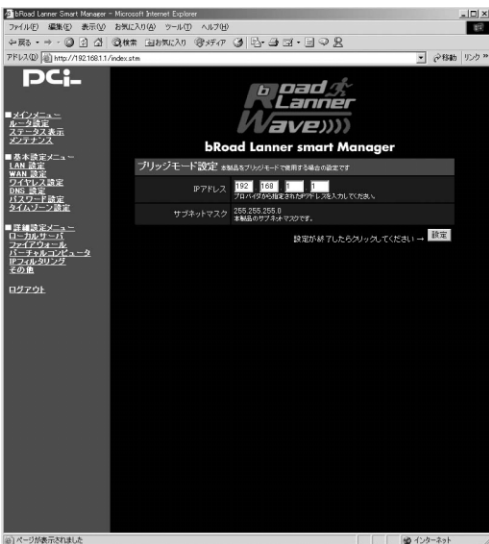
1. コンピュータが起動したら、WEB ブラウザを起動してください。

2. WEBブラウザのURL を入力する欄（Netscape では「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のIP アドレス（デフォルト値は「192.168.1.1」）を入力し、Enterキーを押してください。

3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

4. 本製品の設定画面が表示されます。

5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックしてください。
基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックしてください。

6. **WAN設定画面が表示されるので「ブリッジモード」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。**

7. **ブリッジモード設定画面が表示されます。**

「IP アドレス」

プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。

8. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

9. 画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックしてください。ステータス表示画面が表示されるので、IPアドレスの設定が正しいか確認してください。

6 接続の確認

コンピュータ上でWEB ブラウザを起動し、任意のURLを入力し、ページが表示されるか確認してください。表示されない場合は、プロバイダから指定されている設定をよく確認して、もう一度「インターネット接続設定」をやり直してください。それでも接続できない場合は、「付録A.トラブルシューティング」を参照してください。

ワイヤレスLANアクセスポイント

章では本製品の無線LANアクセスポイント機能を使用する方法について説明します。

1 ワイヤレスLAN アクセスポイントについて

本製品は、ワイヤレスLAN ネットワークと既存のイーサネットネットワークを接続するためのアクセスポイントとしても機能します。本製品を使用することで既存のイーサネットネットワーク資産を利用したワイヤレスLAN ネットワークをシームレスに構築することが可能です。本製品はIEEE802.11 および IEEE802.11b に準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps に対応しています。ローミング機能により端末がサービスセット間を移動してもアクセスポイントを再認識させること無く使用可能です。またESSID やWEP などの機能を使用する事によりより堅牢なセキュリティを保つことが出来ます。

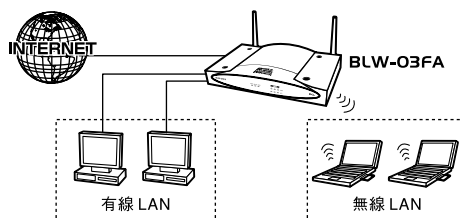



図5-1　ワイヤレスLAN構築例

2 ワイヤレスLAN クライアントの設定

本製品にはIEEE802.11bに準拠したほとんどのワイヤレスLANカードでアクセスすることが可能です。ここではWindows 98/98 Second Edition/Me 上で、弊社製品GW-NS110/NS110PXを使用した場合を例にとって、アクセスポイントにアクセスする場合の設定方法を説明します。GW-NS110/NS110PXのインストールについてはそれぞれのマニュアルを参照してください。

■WEPを使用しない場合の設定

1. 本製品のワイヤレスの設定を第6章「7.ワイヤレス設定」を参照して下記のように設定してください。設定変更後、「設定」ボタンをクリックして設定を保存してください。

項目	設定	説明
ESS-ID	defanlt	ESS-IDによりワイヤレスLANグループが作成されます。 同じESS-IDを設定した機器同士でのみ通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。 ここでは例としてこの値を用いています。
通信速度	Fully Automatic	通信速度を自動設定します。
通信モード	All（1,2,5.5,11Mbps）	通信モードを自動設定します。
チャンネル	Auto	チャンネルを自動設定します。
WEP	無効	WEPによる暗号化を行いません。

表5-1　WEPを使用しない場合の設定

2. GW-NS110/NS110PX をインストールしたコンピュータから、「スタートメニュー」→「プログラム」→「GeoWave 」→「GeoWave Wireless LAN Utility 」を選択してください。GW‐NS110/NS110PXの設定ユーティリティーが起動します。

3. **各項目を下記の通りに設定します。**

項目	設定	説明
ネットワークタイプ	Infrastructure	アクセスポイントを使用して通信するモードです。
転送速度	Fully Automatic	転送速度を自動設定します。
WEP有効	チェックしない	WEPによる暗号化を行いません。
ESS-ID	チェックする、default	ESS-IDによりワイヤレスLANグループが作成されます。 同じESS-IDを設定した機器同士でのみ通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。 ここでは例としてこの値を用いています。

表5-2　ネットワーク各項目設定

4. **「適用」ボタンをクリックしてください。「OK」ボタンをクリックして、ユーティリティーを終了させてください。以上でWEPを使用しない場合の設定は完了です。コンピュータから本製品のLAN側ポートに“ ping ”コマンドを実行する等して通信が出来ているか確認してください。**

■40ビットWEPを使用する場合の設定

1. 本製品のワイヤレスの設定を行います。第6章「7.ワイヤレス設定」を参照してください。最初に「WEPキー文字列」を入力して「作成」ボタンをクリックしてください。その後、他の項目を下記のように設定してください。設定変更後、「保存」ボタンをクリックして設定を保存してください。

項目	設定	説明
ESS-ID	defanlt	ESS-IDによりワイヤレスLANグループが作成されます。 同じESS-IDを設定した機器同士でのみ通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。 ここでは例としてこの値を用いています。
通信速度	Fully Automatic	通信速度を自動設定します。
通信モード	All（1,2,5.5,11Mbps）	通信モードを自動設定します。
チャンネル	Auto	チャンネルを自動設定します。
WEP	40ビットWEP	WEPによる暗号化を行います。
キー文字列	broadlanner	WEPキーを自動設定します。
デフォルトキー	1	通常使用するキーを選択します。

表5-3　40ビットWEPを使用する場合の設定

2. **GW-NS110/NS110PX をインストールしたコンピュータから、「スタートメニュー」→「プログラム」→「GeoWave 」→「GeoWave Wireless LAN Utility 」を選択してください。GW‐NS110/NS110PX の設定ユーティリティーが起動します。**

3. **各項目を下記の通りに設定します。**

項目	設定	説明
ネットワークタイプ	Infrastructure	アクセスポイントを使用して通信するモードです。
転送速度	Fully Automatic	転送速度を自動設定します。
WEP有効	チェックする	WEPによる暗号化を行います。
ESS-ID	チェックする、default	ESS-IDによりワイヤレスLANグループが作成されます。 同じESS-IDを設定した機器同士でのみ通信できます。 任意の文字列を入れる事が出来ます。 ここでは例としてこの値を用いています。

表5-4　ネットワーク各項目設定

4. 「WEPキー」ボタンをクリックしてください。WEPキーを設定するウィンドウが表示されます。各項目を下記の通りに設定します。入力したら「OK」ボタンをクリックしてください。

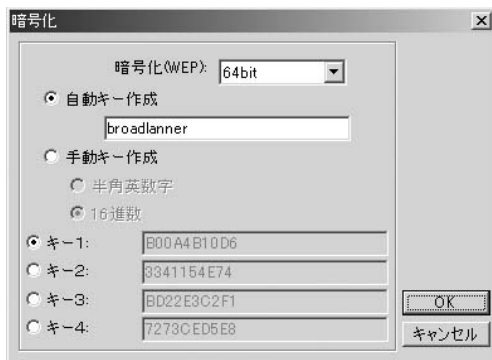
「暗号化（WEP）」

「64bit」を選択してください。（40ビットWEPと64ビットWEPは同じものを意味します。）

「自動キー作成」

「自動キー作成」を選択し、キー文字列を入力してください。ここでは、例として ” broadlanner ” と入力します。

「デフォルトキー」

キー1〜キー4の中からデフォルトを選択してください。

5. **「適用」ボタンをクリックしてください。「OK」ボタンをクリックして、ユーティリティーを終了させてください。**

以上で、40ビットWEPを使用した場合の設定は完了です。コンピュータから本製品のLAN側ポートに“ ping ”コマンドを実行する等して通信が出来ているか確認してください。

詳細設定

こでは、WEBブラウザを使用して本製品の各機能の詳細な設定を行う手順を説明します。

注意

WEB ブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0 以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorer では「表示(ツール)」→「インターネットオプション」→「接続」→「LAN の設定」、Netscape では「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN 側ポートのIP アドレスを入力してください。

1 設定画面を開く

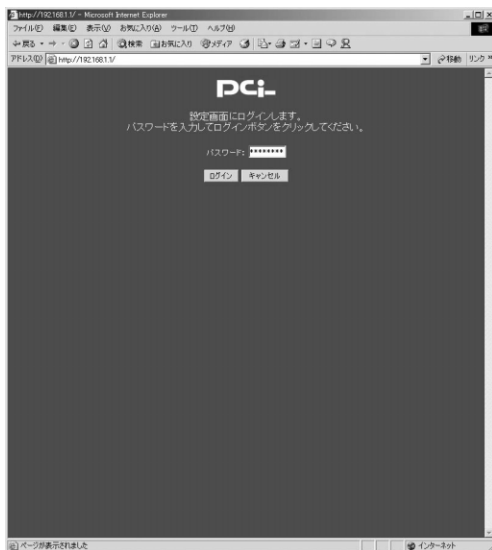
1. コンピュータが起動したら、WEB ブラウザを起動してください。

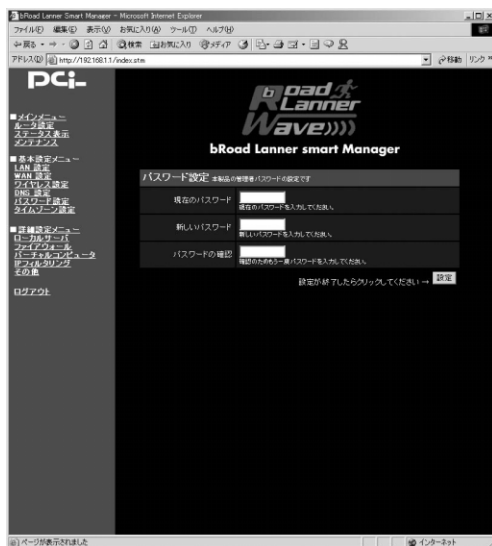
2. WEBブラウザのURL を入力する欄(Netscape では「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIP アドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押してください。

3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。パスワード欄にパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。工場出荷時の状態ではパスワードは「password」です。

4. 本製品の設定画面が表示されます。

6

詳細設定

2 管理者パスワードの設定

本製品の管理者パスワードはデフォルトでは「password」に設定されています。本製品の使用に際してはセキュリティ上、管理者パスワードを変更することを推奨します。管理者パスワードの変更を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「パスワード設定」をクリックしてください。

「現在のパスワード」
現在ルータに設定されているパスワードを入力してください。

「新しいパスワード」
新しいパスワードを入力してください。パスワードの最大長は半角文字で12文字です。

「パスワードの確認」
確認のため新しいパスワードをもう一度入力してください。

設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックしてください。

3 タイムゾーンの設定

本製品のタイムゾーンの設定を行います。ここで設定したタイムゾーンはログの記録とIPフィルタに使用されます。管理者パスワードの変更を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「タイムゾーン設定」をクリックしてください。

「タイムゾーン」

タイムゾーンを設定します。日本国内の場合は「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択してください。

「サマータイム」

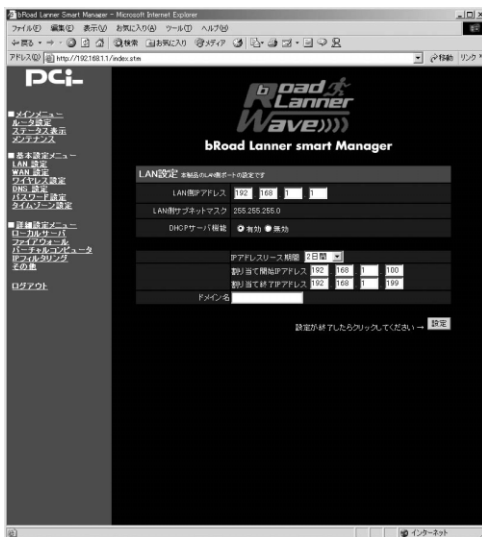
サマータイムを適用する場合に選択してください。

設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックしてください。

6

詳細設定

4 LANポートの設定

本製品のLANポートのIP設定とDHCPサーバ機能の設定を行います。LANポートの設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「LAN設定」をクリックしてください。

「LAN側IPアドレス」

LAN側ポートに設定するIPアドレスを入力してください。デフォルトでは「192.168.1.1 」に設定されています。

「LAN側サブネットマスク」

LAN側ポートのサブネットマスクです。「255.255.255.0 」に設定されています。

「DHCPサーバ機能」

DHCPサーバ機能を使用すると、LAN側のローカルネットワーク上のコンピュータに自動でIPアドレスを割り当てることが可能になり、LAN側ネットワークのコンピュータにIPアドレスを手動で設定する必要がなくなります。DHCPサーバ機能を使用する場合は「有効」を選択してください。DHCPサーバ機能を使用しない場合は「無効」を選択してください。

「割り当て開始アドレス」

DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の開始アドレスを設定してください。本製品のLAN側ポートのIPアドレスが割り当て範囲内に含まれないように設定してください。

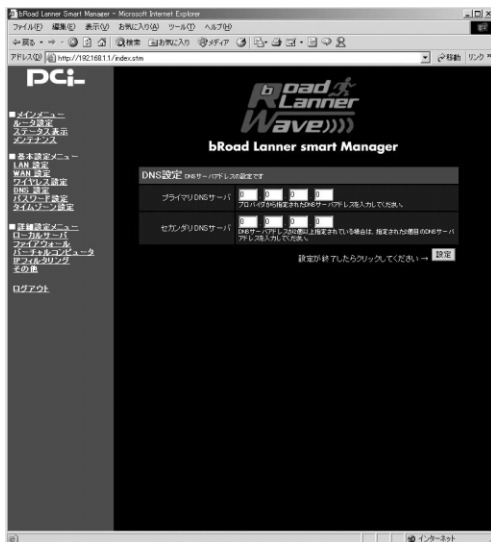
「割り当て終了アドレス」
DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の終了アドレスを設定してください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

注意

1.DHCPサーバで割り当てるIPアドレスには本製品のLAN側ポートのIPアドレスと同じネットワークアドレスを設定してください。例えば、LAN側ポートのIPアドレスを192.168.10.1に設定した場合は、割り当て範囲は192.168.10.x（xは1以外）に設定してください。
2.DHCPサーバ機能を「無効」に設定した場合は、LAN 側ネットワーク上のすべてのコンピュータのIP アドレスを手動で設定してください。

5 DNS設定

DNS（ドメインネームサーバ）アドレスの設定を行います。DNSアドレスの設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「DNS設定」をクリックしてください。

「プライマリDNSサーバ」
プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを入力してください。

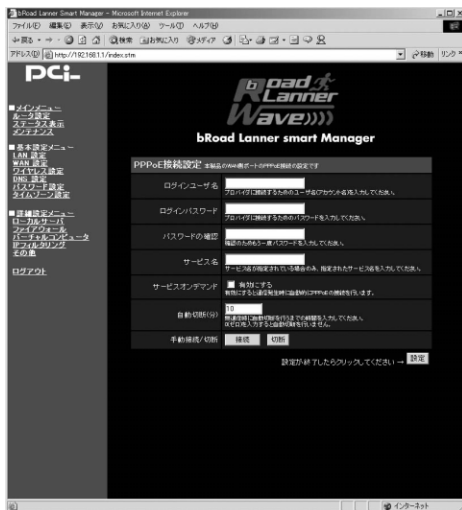
「セカンダリDNSサーバ」
プロバイダから2個以上のDNSサーバアドレスが指定されている場合は、指定された2個目のDNSサーバアドレスを入力してください。

設定が終わったら「設定」ボタンをクリックしてください。

6 WANポートの設定

WANポートの設定を変更するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「WAN設定」をクリックしてください。
本製品はWAN側ポートの接続方法として、「PPPoE接続」、「DHCP接続」、「固定IP接続」、「ブリッジモード」の4種類に対応しています。

ご利用のプロバイダのサービスにあった接続方法を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。

■PPPoE接続の設定

「ログインユーザ名」

プロバイダから指定されたPPPoE 接続のユーザ名（アカウント名）を入力してください。

「ログインパスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE 接続のパスワードを入力してください。

「パスワードの確認」

確認のためパスワードをもう一度入力してください。

「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE 接続のサービス名が指定される場合があります。この場合は指定されたサービス名を入力してください。サービス名の指定がない場合は空白のままでかまいません。

「IPアドレス」

プロバイダから固定IPアドレスの指定がない場合は「自動取得」を選択してください。PPPoE接続の際にIPアドレスを自動取得します。プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は「固定IPアドレス」を選択し、指定されたIPアドレスを入力してください。

「サービスオンデマンド」

有効にすると、LAN側のコンピュータからインターネットへの接続要求があった場合に、自動的にPPPoEの接続を行います。有効にしない場合にPPPoEの接続を行うには、「接続」ボタンをクリックしてください。

「自動切断(分)」
ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わない場合は“ 0 ”を設定してください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

■DHCP接続の設定

「ホスト名」
通常は変更する必要はありませんが、プロバイダによってはホスト名が指定されている場合があります。この場合は指定されたホスト名を入力してください。

「MACアドレス」
本製品の現在のWAN側ポートのMACアドレスが表示されます。

「MACアドレスの変更」
「コピー」ボタンをクリックすると、本製品のWAN側ポートのMACアドレスに、現在設定を行うためにアクセスしているコンピュータのMACアドレスをコピーする事ができます。ADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの登録が必要なプロバイダの場合に、すでに登録しているコンピュータのMACアドレスをコピーすることにより登録の変更をする事無くご利用いただけます。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

■固定IP接続の設定

「WAN側IP アドレス」
プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。

「WAN側サブネットマスク」
プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

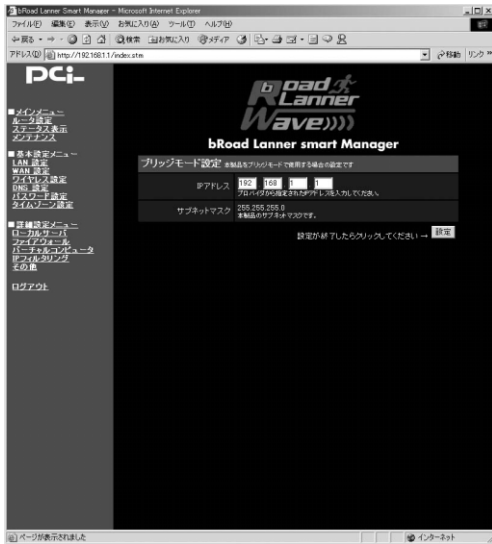
「WAN側デフォルトゲートウェイ」
プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイのIP アドレスを入力してください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

■ブリッジモードの設定

「IP アドレス」
プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

6
詳細設定

7 ワイヤレス設定

無線LAN機能の設定を変更するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「ワイヤレス設定」をクリックしてください。

■一般設定

「ESS-ID」

ESS-ID（Extended Service Set Identifier）を設定すると、同じESS-IDを設定した無線ステーションのみ本製品にアクセスできるようになります。ESS-IDは無線通信を行うすべての機器で同じ値に設定する必要があります。ESS-IDは半角英数字で32 文字以内で入力してください。

「通信速度」

無線LANの通信速度を設定します。本製品の無線LANの通信速度は11/5.5/2/1Mbpsに対応しています。通常は「Fully Automatic」を選択してください。通信速度を自動的に設定します。

「通信モード」

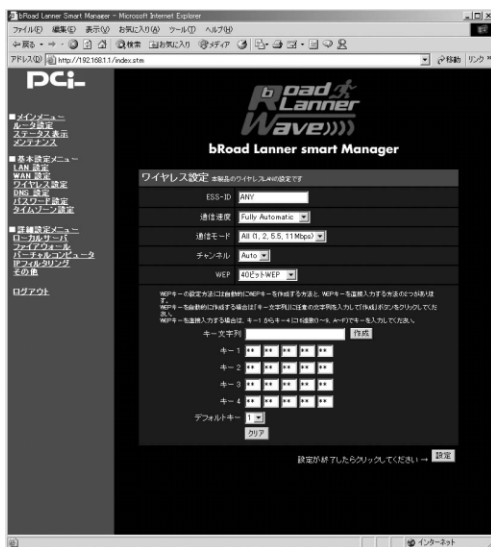
無線LANの通信モードを設定します。通常は「All（1,2,5.5,11Mbps）」を選択してください。

「チャンネル」
無線LANで使用するチャンネル番号を入力してください。通常は「Auto」を選択してください。切断が頻繁に発生したり、データ転送速度が極端に遅い場合は、電波が干渉を起こしている可能性があります。このような場合はチャンネル番号を変更してみてください。

■WEP設定
WEP機能とは無線で通信を行う機器同士で共通の暗号キーを使用して、送受信データを暗号化しデータのセキュリティを確保するための機能です。

「WEP」
「無効」を選択するとWEP機能によるデータの暗号化を行いません。「40ビットWEP」を選択すると、送受信データに対して40ビット暗号化を行うようになります。「128ビットWEP」を選択すると、送受信データに対して128ビット暗号化を行うようになります。WEPを使用する場合は、無線通信を行うすべてのステーションで同じ種類で同じキーを使用して暗号化を行う必要があります。デフォルトではWEP機能は無効になっています。

◎40ビットWEPキーの設定
本製品のWEPキーの設定方法には自動的にWEPキーを作成する方法と、WEPキーを直接入力する方法の2種類があります。
WEPキーを自動的に作成する場合は「キー文字列」に任意の文字列を入力して「作成」ボタンをクリックしてください。このときに作成されたWEPキーが「キー1」から「キー4」に表示されます。表示されたWEPキーをメモを取るなどして記録しておいてください。
WEPキーを直接入力する場合は、「キー1」から「キー4」に16進数（0～9、A～F）でキーを入力してください。入力したキーは忘れないようにメモしておいてください。
無線LAN通信を行うすべてのコンピュータに同じWEPキーを設定してください。

「デフォルトキー」
デフォルトで使用する暗号キーを選択してください。選択した暗号キーを使用して送信データの暗号化を行います。

◎128ビットWEPキーの設定

本製品のWEPキーの設定方法には自動的にWEPキーを作成する方法と、WEPキーを直接入力する方法の2種類があります。

WEPキーを自動的に作成する場合は「キー文字列」に任意の文字列を入力して「作成」ボタンをクリックしてください。このときに作成されたWEPキーが「キー1」に表示されます。表示されたWEPキーをメモを取るなどして記録しておいてください。

WEPキーを直接入力する場合は、「キー1」から「キー4」に16進数（0〜9、A〜F）でキーを入力してください。入力したキーは忘れないようにメモしておいてください。

無線LAN通信を行うすべてのコンピュータに同じWEPキーを設定してください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

8　ローカルサーバ機能

ローカルサーバ機能とは、LAN側のローカルネットワーク上に接続したサーバを、インターネット（WAN）側からアクセス可能にする機能です。バーチャルコンピュータ機能がインターネット側からのすべての通信を1台のコンピュータに転送するのに対して、ローカルサーバ機能では、TCP/UDPプロトコルのポート番号ごとに転送先のローカルIPアドレスを設定することができます

ローカルサーバ機能の設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「ローカルサーバ」をクリックしてください。

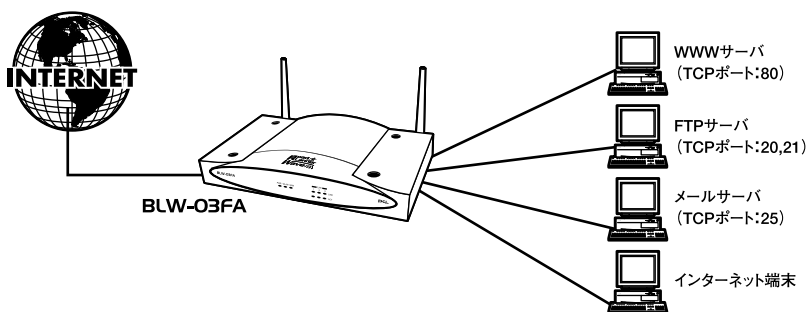
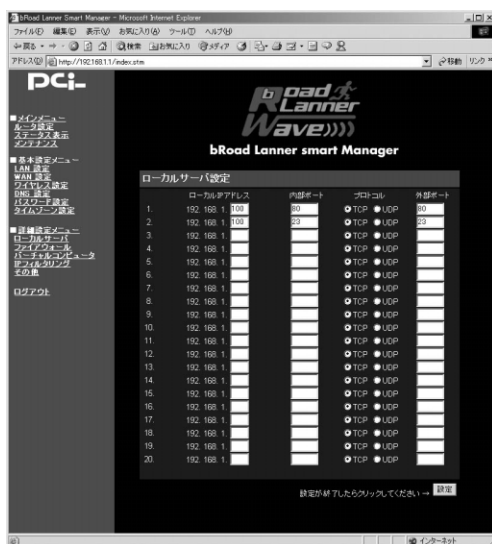



図6-1　ローカルサーバ

「ローカルIPアドレス」
インターネット側からアクセス可能にするローカルネットワーク上のコンピュータのIP アドレスを入力してください。ローカルサーバに設定するコンピュータは固定のIPアドレスを使用することを推奨します。

「内部ポート」
インターネット側からアクセス可能にするサービス（アプリケーション）で使用しているポート番号を入力してください。
通常は外部ポートと同じ番号を入力します。

「プロトコル」
インターネット側からアクセス可能にするサービス（アプリケーション）で使用しているプロトコルをTCPまたはUDPから選択してください。

「外部ポート」
インターネット側からアクセス可能にするサービス（アプリケーション）で使用しているポート番号を入力してください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

◎例：WEB サーバを公開する場合
ローカルネットワーク上のコンピュータ（IP アドレス：192.168.1.100）をWEB サーバとして公開する場合は、「プロトコル」にTCP、「内部ポート」および「外部ポート」に80を設定してください。「ローカルIPアドレス」には公開するコンピュータのIPアドレス（192.168.1.100）を入力してください。
設定したWEB サーバにインターネットからアクセスするには、WEB ブラウザのアドレス（URL）入力欄に本製品のWAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

9 バーチャルコンピュータ機能（DMZ）

バーチャルコンピュータ機能とは、ローカルネットワーク上のコンピュータをインターネット（WAN）側からアクセス可能にする機能で、DMZ（DeMilitarized Zone）とよばれることもあります。バーチャルコンピュータを設定すると、インターネットから、設定したグローバルIPアドレスへ送られてくる不明なパケットはすべてバーチャルコンピュータに転送されるようになります。
複数のグローバルIPアドレスが割り当てられるインターネット接続サービスをご利用の場合は、最大8台までのバーチャルコンピュータを設定することができます。
バーチャルコンピュータの設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「バーチャルコンピュータ」をクリックしてください。

注意

バーチャルコンピュータ機能を有効にすると、バーチャルコンピュータに設定したコンピュータに対してセキュリティが働かない状態になります。バーチャルコンピュータ機能は、必要時以外は無効にしておくことを推奨します。

「バーチャルコンピュータ機能」
バーチャルコンピュータ機能を使用する場合は「有効」を選択してください。
バーチャルコンピュータ機能を使用しない場合は「無効」を選択してください。

「グローバルIPアドレス」
設定したバーチャルコンピュータにインターネット側からアクセスする時に使用するグローバルIPアドレスを入力してください。1台目のバーチャルコンピュータの場合は、本製品のWAN側ポートのIPアドレスが使用されるので入力する必要はありません。

「ローカルIPアドレス」
バーチャルコンピュータに設定するLAN側ローカルネットワーク上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。バーチャルコンピュータに設定するコンピュータは固定のIPアドレスを使用することを推奨します。

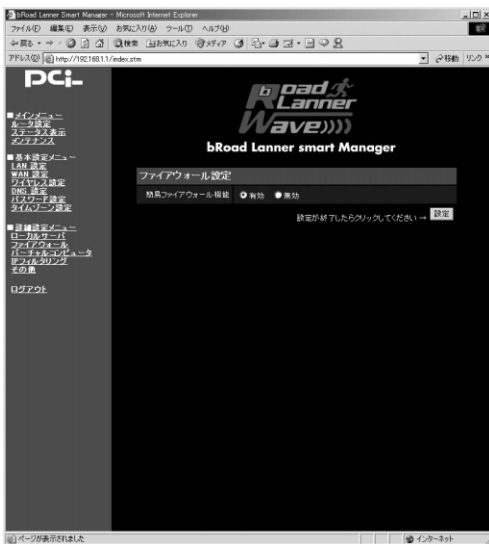
設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

10 ファイアウォール設定

本製品は簡易ファイアウォール機能を装備しています。簡易ファイアウォール機能ではインターネット（WAN）側からの次のような攻撃を検出し、これを遮断します。

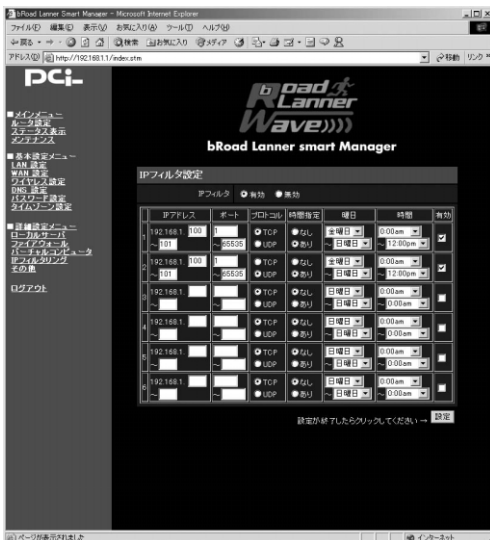
◎検出可能な攻撃
「IP Spoofing」「TCP Null Scan」「TCP SYN Flooding」「Snork Attack」「UDP Port Loopback」「Smurf Attack」「Zero Length IP」「Ping of Death」

検出した攻撃は、ステータス画面のセキュリティログに表示されます。

ファイアウォール機能の設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「ファイアウォール」をクリックしてください。

「簡易ファイアウォール機能」
簡易ファイアウォール機能を使用する場合は「有効」を選択してください。
簡易ファイアウォール機能を使用しない場合は「無効」を選択してください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

11 フィルタ設定

本製品のフィルタ機能では、LAN側ローカルネットワーク上の特定のユーザのWEB参照やE-mailの使用などの特定のインターネットサービスを曜日や時間を指定して制限することが可能です。フィルタ機能の設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「IPフィルタリング」をクリックしてください。

「IPフィルタ」

IPフィルタ機能を使用する場合は「有効」を選択してください。IPフィルタ機能を使用しない場合は「無効」を選択してください。

「IPアドレス」

インターネットへのアクセス制限を行うLAN側ローカルネットワーク上のコンピュータのIPアドレス範囲を入力してください。

「ポート」

インターネットへのアクセス制限を行うサービスで使用しているポート番号範囲を入力してください。

「プロトコル」

インターネットへのアクセス制限を行うサービスで使用しているプロトコルをTCPまたはUDPから選択してください。

「時間指定」

時間指定してインターネットへのアクセス制限を行う場合は「あり」を選択してください。時間指定をしない場合は「なし」を選択してください。

「曜日」

時間指定で「あり」を選択した場合は、アクセス制限を開始する曜日と終了する曜日を選択してください。

「時間」

時間指定で「あり」を選択した場合は、アクセス制限を開始する時間と終了する時間を選択してください。

「有効」

設定したフィルタを有効にする場合にチェックしてください。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックしてください。

12 その他の設定

ここでは、管理者タイムアウトの時間、インターネット（WAN）からの設定画面へのログイン許可の設定を行います。これらの設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「その他」をクリックしてください。

「管理者タイムアウト（分）」

設定画面にログインしてから、ここで設定した時間操作が行われないと自動的にログアウトします。

「WAN側のpingへの応答」

チェックするとインターネット（WAN）側からの本製品のWAN側ポートへのpingに応答しません。セキュリティ上チェックしておくことをおすすめします。

「WAN側からの設定」

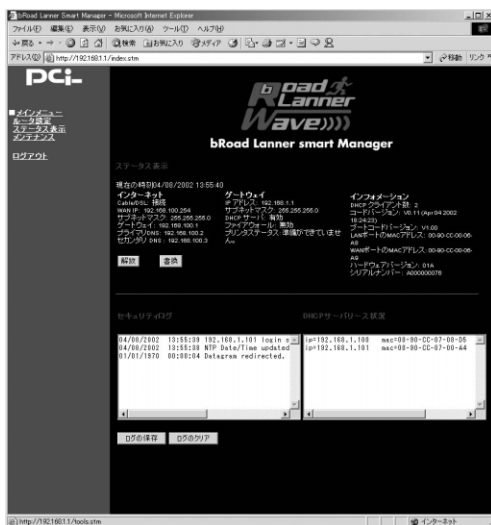
インターネット（WAN）側からの設定画面へのログインを許可する場合はチェックしてください。

「WAN側管理端末」

インターネット（WAN）側からの設定画面へのログインを許可するコンピュータのIPアドレスを入力してください。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックしてください。

13 ステータス表示

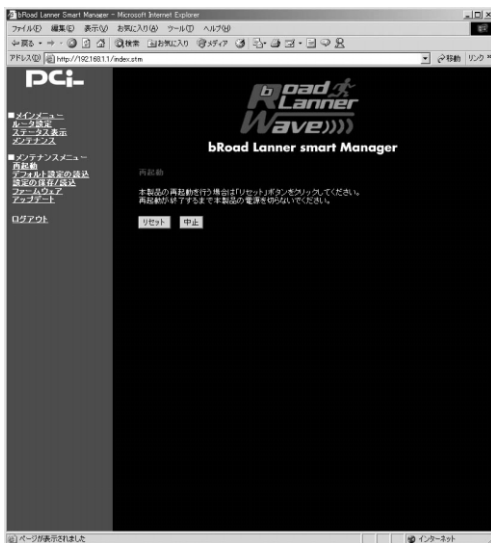
ステータス表示画面では、本製品のWAN側ポートの接続状況、LAN側ポートの設定、WAN側の攻撃検出ログ、DHCPサーバ機能のリース状況等の情報を表示します。
ステータス表示を行うには、メインメニューから「ステータス表示」をクリックしてください。

「解放」ボタン
WAN側ポートの接続がDHCP接続の場合にIPアドレスを解放します。

「書換」ボタン
WAN側ポートの接続がDHCP接続の場合にIPアドレスを更新します。

「ログの保存」ボタン
セキュリティログの内容をファイルに保存します。

「ログのクリア」ボタン
セキュリティログの内容を消去します。

14 再起動

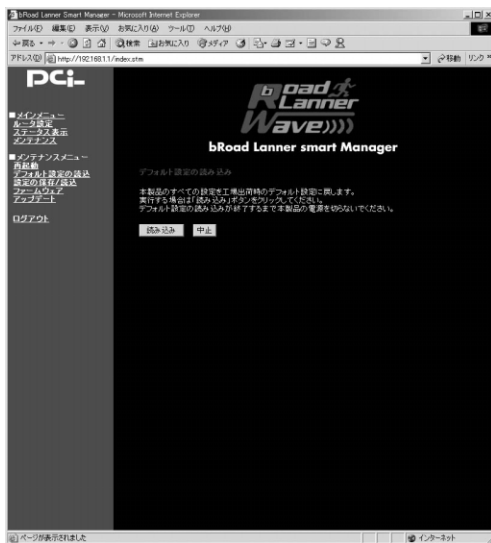
本製品の再起動を行う場合は、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「再起動」をクリックしてください。

「リセット」ボタン

本製品の再起動を行います。

6

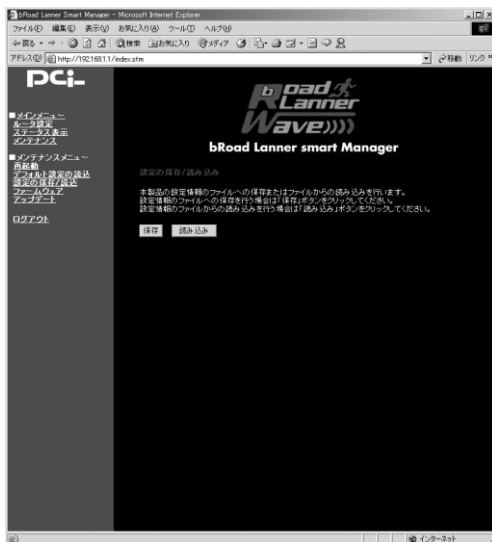
詳細設定

15 デフォルト設定への復帰

「デフォルト設定の読込」で、本製品の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。デフォルト設定への復帰を行う場合は、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「デフォルト設定の読込」をクリックしてください。

「読み込み」ボタン
デフォルト設定を読み込んで再起動します。

6
詳細設定

16 設定情報の保存/読み込み

本製品の設定情報はファイルへの保存や、ファイルから読み込むことができます。
設定情報の保存/読み込みを行う場合は、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「設定の保存/読込」をクリックしてください。

■設定情報ファイルの読み込み

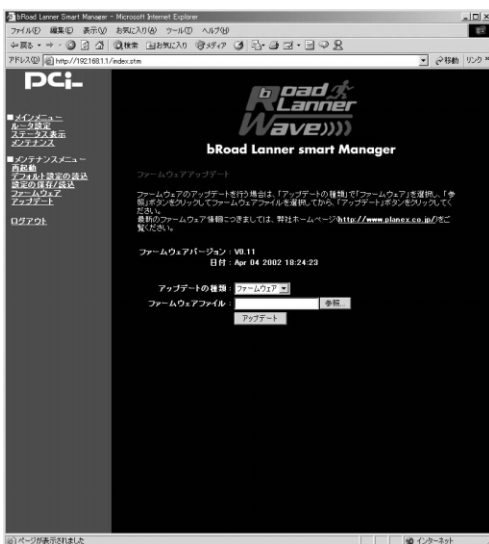
「読み込み」ボタンをクリックしてください。設定の読み込み画面が表示されるので「設定情報ファイル」に読み込む設定ファイルをフルパスで入力してください。または「参照」ボタンをクリックして設定ファイルを選択してください。
ファイルを指定したら、「読み込み」ボタンをクリックしてください。設定ファイルが読み込まれ本製品が再起動します。

■設定情報のファイルへの保存

「保存」ボタンをクリックしてください。ファイルのダウンロードウィンドウが表示されるので、ファイルを保存してください。

17 ファームウェアのアップデート

本製品のファームウェアはWEBブラウザからアップデートを行うことができます。

ファームウェアのアップデートを行う場合は、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「ファームウェアアップデート」をクリックしてください。

本製品のファームウェアには「ファームウェア本体」と「ユーザインターフェース」の2種類があります。「アップデートの種類」で「ファームウェア」または「インタフェース」を選択し、「ファームウェアファイル」欄でファームウェアファイルをフルパスで入力してください。または「参照」ボタンをクリックしてファームウェアファイルを選択してください。

ファームウェアファイルを選択したら、「アップデート」ボタンをクリックしてください。ファームウェアが読み込まれ本製品が再起動します。

注意

最新のファームウェア情報につきましては、弊社ホームページ（http://www.planex.co.jp/）をご覧ください。

プリントサーバ機能

章では本製品のプリントサーバ機能の使用方法について説明します。

注意

1.本製品のプリントサーバ機能はWindowsコンピュータにのみ対応しています。
2.双方向通信が必要なプリンタや、WPS（Windows Printing System）仕様のプリンタは使用できません。

1 プリンタの接続

本製品背面のプリンタポート（D-sub 25ピン）とプリンタをプリンタケーブルで接続してください。

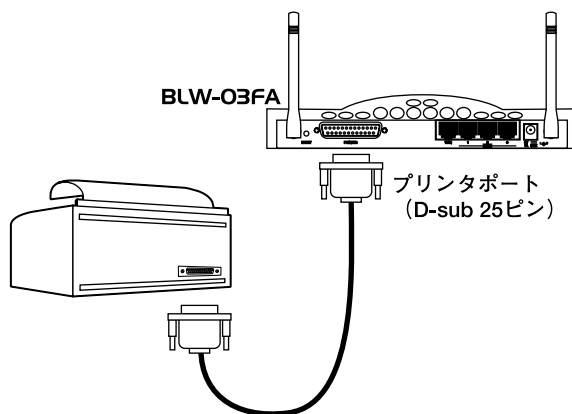



図7-1　プリンタの接続

2 プリンタポートドライバのインストール（Windows 95/98/Meのみ）

Windows 95/98/Meから本製品のプリントサーバ機能を使用する場合は、付属のプリンタポートドライバのインストールが必要です。次の手順でプリンタポートドライバのインストールを行ってください。Windows 2000/XPの場合はプリンタポートドライバのインストールは必要ありません。
「7-4 Windows 2000/XPへのプリンタのインストール」に進んでください。

1. 本製品付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。

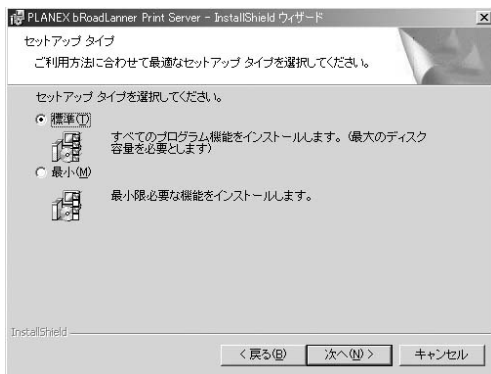
2. 「スタート」メニューから、「ファイル名を指定して実行」を選択してください。「名前」に「D:\SETUP.EXE」（CD-ROMドライブがDドライブの場合）と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

3. プリンタポートドライバのインストール画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

4. ユーザ情報を入力する画面が表示されます。「IPアドレス」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。「所属」の欄は空欄のままでもかまいません。入力が終わったら「次へ」ボタンをクリックしてください。

7

プリントサーバ機能

5. セットアップタイプを選択する画面が表示されます。通常は「標準」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。

6. 「インストール」ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。

7.「完了」ボタンをクリックしてください。

8. プリンタポートドライバはコンピュータの再起動後に有効になります。コンピュータの再起動を行ってください。

3 Windows 95/98/Meへのプリンタのインストール

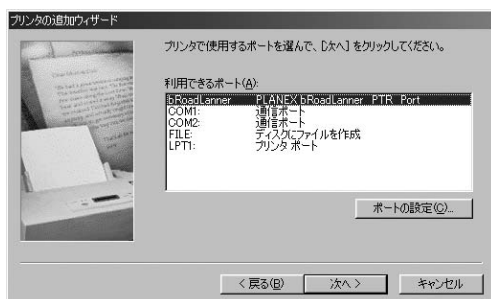
プリンタのインストールを行う前に付属のプリントポートドライバのインストールが終了していることを確認してください。終了していない場合は「7-2 プリントポートドライバのインストール」を参照してインストールを行ってください。

1. 「スタート」メニューから「設定」→「プリンタ」と選択してください。

2. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」が開始されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

3. プリンタの接続場所を聞かれますので、「ローカルプリンタ」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックしてください。

4. **プリンタの選択画面が表示されますので、ご使用のプリンタのマニュアルを参照してプリンタを選択してください。「次へ」ボタンをクリックしてください。**

5. **プリンタの使用するポートの選択ウィンドウが開きますので、「PLANEX bRoadLanner PTR Port」を選択して、「ポートの設定」ボタンをクリックしてください。**

6. **プリンタポートの設定画面が表示されます。ポートの「IP アドレス」欄が本製品のLAN側ポートのIPアドレスになっているかと、「出力ポートの選択」欄が「LPT1」になっていることを確認して「OK」ボタンをクリックしてください。**

7. **プリンタ名を設定するウィンドウが開きます。「プリンタ名」にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールし**
たプリンタを通常使うプリンタにする場合は「はい」に、通常使うプリンタにしない場合は「いいえ」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックしてください。コンピュータへの1台目のプリンタのインストールの場合には自動的に通常使うプリンタになります。

8. **印字テストを行うか聞いてきます。印字テストを行う場合は「はい」を選択して「完了」ボタンをクリックしてください。**

7
プリントサーバ機能

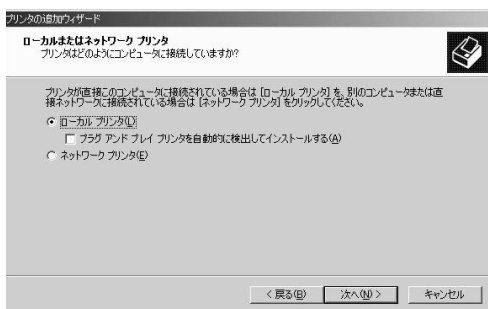
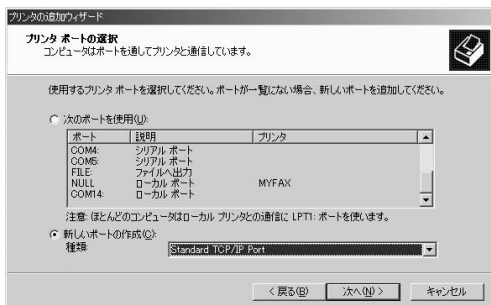
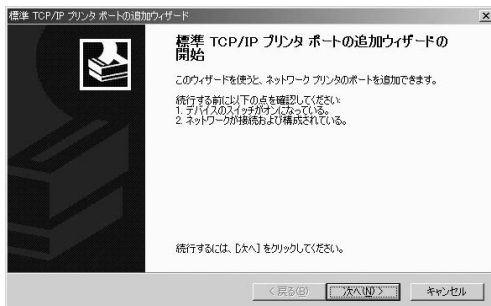
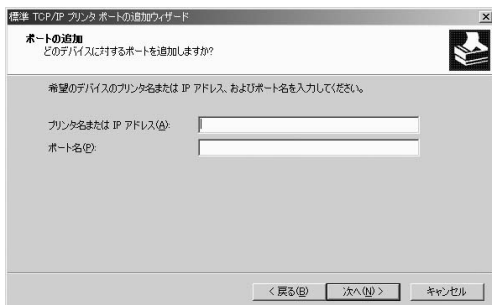
4 Windows 2000/XPへのプリンタのインストール

Windows 2000/XPではWindows 2000/XP標準のTCP/IPポートを使用してプリンタのインストールを行います。

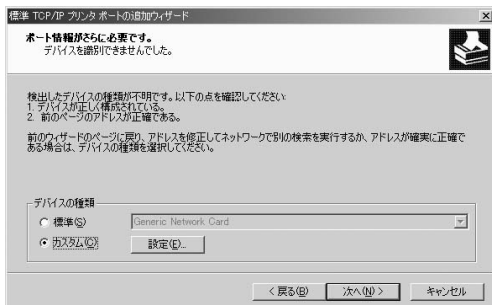
1. Windows 2000の場合は「スタート」メニューから「設定」→「プリンタ」と選択し、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。
Windows XPでは「スタート」メニューから「プリンタとFAX」と選択し、「プリンタのインストール」をクリックしてください。

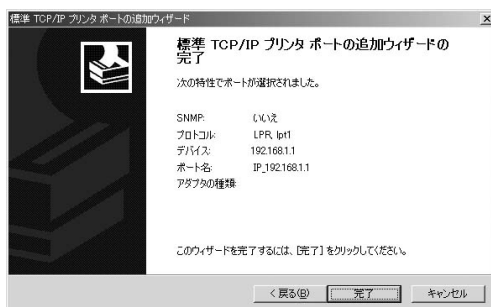
2. 「プリンタの追加ウィザード」が開始されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

3. プリンタの接続場所を聞かれますので、「ローカルプリンタ」にチェックマークを入れ、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」からチェックマークを外し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

7
プリントサーバ機能

4. **プリンタポートの選択ウィンドウが表示されます。「新しいポートの作成」にチェックマークを入れ、「種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。**

5. **「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が開始されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。**

6. **ポートの追加ウィンドウが表示されます。「プリンタ名またはIPアドレス」に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。**

7. **デバイスの種類の選択ウィンドウが表示されます。「カスタム」にチェックマークを入れ、「設定」ボタンをクリックしてください。**

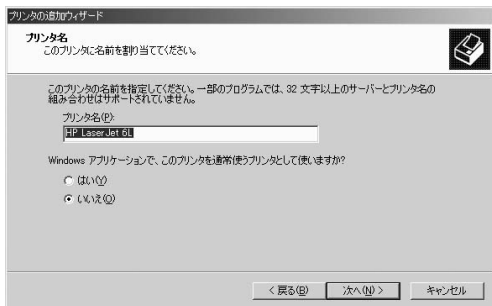
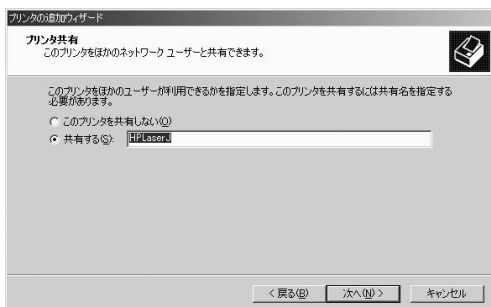
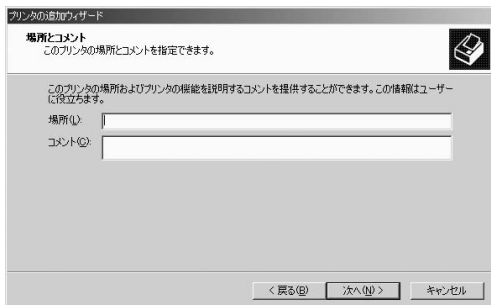
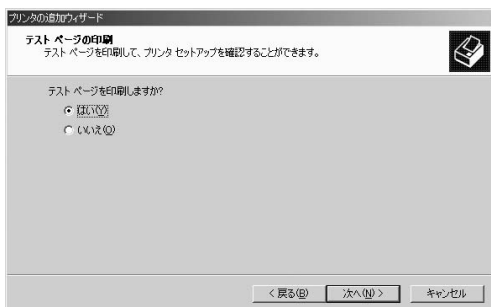
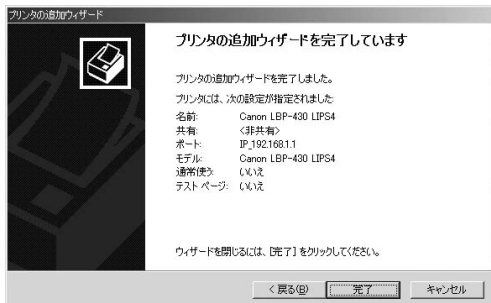
7

プリントサーバ機能

8. ポートの設定ウィンドウが表示されます。「プロトコル」から「LPR」にチェックマークを入れてください。「LPR 設定」の「キュー名」に「lpt1 」と入力してください。設定が終わったら「OK」ボタンをクリックしてください。

9. 標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了ウィンドウが表示されますので、設定内容を確認して、「完了」ボタンをクリックしてください。

10. 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が完了すると「プリンタの追加ウィザード」に戻ります。プリンタの選択画面が表示されますので、ご使用のプリンタのマニュアルを参照してプリンタを選択してください。「次へ」ボタンをクリックしてください。

11. プリンタ名を設定するウィンドウが表示されます。「プリンタ名」にインストールしたプリンタの名前を入力し、インストールしたプリンタを通常使うプリンタにする場合は「はい」に、通常使うプリンタにしない場合は「いいえ」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックしてください。コンピュータへの1台目のプリンタのインストールの場合には自動的に通常使うプリンタになります。

7

プリントサーバ機能

12. プリンタの共有設定ウィンドウが表示されます。インストールしたコンピュータを通してプリンタを共有する場合は、「共有する」にチェックマークを入れ、共有名を入力してください。共有しない場合は「このプリンタを共有しない」にチェックマークを入れてください。「次へ」ボタンをクリックしてください。

13. プリンタを共有する設定にした場合は、プリンタの場所とコメントを入力するウィンドウが表示されます。「場所」と「コメント」を任意に入力してから、「次へ」ボタンをクリックしてください。

14. **テストページの印刷の選択ウィンドウが表示されます。「プリンタの追加ウィザード」の完了時にテスト印刷をする場合は「はい」に、テストページの印刷をしない場合には「いいえ」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。**

15. **プリンタの追加ウィザードの完了ウィンドウが表示されます。設定内容を確認してから「完了」ボタンをクリックしてください。テストページの印刷を選択していた場合は印刷が始まります。正常にプリンタから印刷されればインストール完了です。**

トラブルシューティング

■ PWR LEDが点灯しない

●本製品付属のACアダプタを使用していますか？
●ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
●ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

■ WAN LEDが点灯しない

●LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
●ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

■ LAN LINK LEDが点灯しない

●LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
●コンピュータの電源は入っていますか？

■ WEB設定画面が表示されない

●コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。
●コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得（DHCPを使用）する設定にしてください。
●使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示（ツール）」→「インターネットオプション」→「接続」、Netscapeでは「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。

●コンピュータがIPアドレスを取得できていない可能性があります。→WindowsではDOSプロンプトから、ipconfig コマンドを実行するとIPアドレスが表示されています。Macintoshではアップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を開いて、IPアドレスの欄にIPが割り振られてるか確認してください。コンピュータがIPアドレスを取得できてない場合は、コンピュータを再起動してください。（デフォルト設定時は192.168.1.xxx がIPアドレスとして割り当てられます。）

■ インターネットにアクセスできない

●WAN側のIP設定が間違っている可能性があります。
→プロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「第4章 インターネット接続設定」をやり直してください。
●DNSサーバの設定が間違っている可能性があります。
→DHCPサーバ機能を利用されている場合はプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「第4章 インターネット接続設定」をやり直してください。
→DHCPサーバ機能を利用していない場合はプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、コンピュータのDNSサーバ設定を確認してください。
●IPフィルタが設定されていませんか？
→IPフィルタの設定を確認してください。

■ IPアドレス、またはパスワードを忘れてしまった

●本製品の管理者パスワードを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまった場合は、第1章「6. 設定の初期化」を参照し、IPアドレス、またはパスワードを工場出荷時の状態に戻してください。

■ ＭＡＣアドレスがわからない

●本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。Node ID： の後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。MACアドレスはLAN側ポートとWAN側ポートで異なりますので注意して下さい。プロバイダへMACアドレスの申請が必要な場合はWAN側ポートのMACアドレスを申請して下さい。

デフォルト設定

本

製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフォルト設定の読込みを行った場合も、以下の設定が読込まれます。

項目		設定内容
LAN側	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
WAN側	接続方法	DHCP接続
	DHCPクライアント	有効
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
ワイヤレス	アクセスポイント機能	有効
	ESS-ID	ANY
	チャンネル	Auto
	WEP	使用しない
DHCPサーバ	DHCPサーバ	有効
	DHCP IP割り当て範囲	192.168.1.100～199
	DNSアドレス（1）	0.0.0.0
	DNSアドレス（2）	0.0.0.0
パスワード		password
インターネットからの設定		無効
ドメイン名		未設定
ホスト名		broadlanner
NAT		有効
ローカルサーバ		なし
バーチャルコンピュータ		なし
フィルタ設定		なし

仕様

◎無線部

＜準拠する標準＞
IEEE 802.11/802.11b 、ARIB STD-33A/STD-T66

＜伝送速度＞
11/5.5/2/1Mbps

＜周波数帯＞
2.4 ～2.497GHz

＜通信距離＞
240m （屋内使用時、見通し距離）
※環境により上記距離を満たせない場合があります。

＜アンテナタイプ＞
ダイバシティアンテナ

◎有線部

＜準拠する標準＞
LAN 側IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX
WAN 側IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

＜伝送速度＞
LAN 側10/100Mbps
WAN 側10/100Mbps

＜ポート＞
LAN 側10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 ×3 ポート
WAN 側10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 ×1 ポート

＜ネットワークケーブル＞
10BASE-T カテゴリ3 以上ツイストペアケーブル（100m）
100BASE-TX カテゴリ5 以上ツイストペアケーブル（100m）

◎共通

＜プリンタポート＞
D-Sub25ピン　セントロニクスパラレルポート

＜LED＞
PWR、WAN、WLAN、LAN LINK、LAN ACT

＜入力電源＞
DC 9V、1000mA

＜消費電力＞
最大7W

＜外形寸法（W×D×H）＞
220 ×134 ×39mm（アンテナ部含まず）

＜重量（本体のみ）＞
670g

＜環境＞
動作温度0 ～40 ℃
動作湿度35 ～85 %

＜EMI＞
VCCI Class B

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/user.htm

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX：03-5614-1018

送信日：________

会社名			
部署名			
名前			
電　話		FAX	
E-MAIL			

製品名 Product name	ワイヤレス 3ポート ブロードバンド ルータ
型番 Product No.	**BLW-03FA**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

③ ご使用のプロバイダについて

プロバイダ名	
サービス名	

④ 質問内容

保証規定

プラネックスコミュニケーションズ（株）は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理の手順（センドバック方式）

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。
   プラネックスコミュニケーションズ（株）
   サポートセンター　フリーダイヤル 0120-415977
2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。
   （誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。）
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

保証書

保証期間 Warranty	西暦　　　　年　　　　月　　　　日より　1　年間		
製品名 Product Name	ワイヤレス 3ポート ブロードバンド ルータ		
型番 Product No.	BLW-03FA	製造番号 Serial No.	

□ 個人使用　□ 法人使用（チェックしてください。）
※ 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。

フリガナ			
会社名			
部署名			
フリガナ			
お名前			
フリガナ			
ご住所	□□□-□□□□ 都道 府県		
TEL		FAX	
メールアドレス			
ご購入 代理店名 ・所在地			

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。
なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って
いただいていない場合には、
一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977
受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）
10:00～12:00・13:00～17:00
FAX：03-5614-1018
ユーザー登録：http://www.planex.co.jp/user/user.htm

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

http://www.planex.co.jp/
E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

BLW-03FA マニュアル補足

SS Manual No.PHM-02-05-14-TN-BLW03FA Version 1.0

このたびは、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

インターネット（WAN）側から設定画面にログインするとき、WEBブラウザへのURL入力は、IPアドレスだけでなくポート番号（8080）も一緒に入力してください。

本製品のWAN側IPアドレスが、例えば「192.168.10.1」になっているとき、WEBブラウザのURL欄には、次のように入力してください。

「http://192.168.10.1:8080/」

※「詳細設定メニュー」の「その他設定」にある「WAN側からの設定」が有効になっていること確認してください。

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社